

先輩職員紹介



村瀬 美紀 技師

住宅課(平成30年7月～)

・平成28年 入庁 岐阜・西濃建築事務所

■現在の仕事は？

市町村が公営住宅の改修工事等を円滑に行えるように、国の交付金を活用して支援するのが主な仕事です。

建築事務所では、開発許可や建築確認・許可などの仕事をしていました。以前と今は、仕事内容が全く違うので、毎日が新しいことの連続です。

■入庁3年目になって、何か思うことはありますか？

学生時代よりも、今の方が勉強していると思います。大学で学んだことが、実務の中で「こういうことだったのか」とわかることがあります。

また、建築事務所では建築士からの質問に答えなければならないので、法律も学生時代よりも読んでいます。

勉強したことが、経験を通じて、着実に身になっているというのが実感です。

まだ何が自分に向いているのかわかりませんが、県には様々な仕事があるので、いろいろ経験したいと思います。

[平成30年7月インタビュー]



大西 俊輔 技師

県庁舎建設課(平成29年～)

・平成28年 入庁 管財課県庁舎建設室

■現在の仕事は？

建築後半世紀を経過する県庁舎の建替え工事と関連工事の設計業務を行っています。ゼロから物を造るという貴重な体験をさせてもらっています。

現庁舎に設置されている貴重なモザイク壁画なども移設するので、移設方法の検討や本体設計との調整などの業務も必要になってきます。

当課には多様な職種(行政、土木、電気、機械など)の職員がいて、皆で協力するからこそ、事業が進んでいくということを実感しています。

■入庁前の想像と違っていたことはありますか？

県庁には窓口業務が少ないと思っていましたが、意外に、外部の関係者とのやり取りが多いと思っています。

特に県庁舎建設は、外部の方々(各種団体、近隣住民等)との調整が必要です。皆さんの関心が非常に高く、いろんな意見が聞けるので、大変勉強になっています。

[平成30年7月インタビュー]

先輩職員紹介



黒田 遼 技師

岐阜・西濃建築事務所

(平成29年～)

- ・平成27年 入庁 公共建築住宅課
- ・平成28年 住宅課

■現在の仕事は？

都市計画法に基づく開発許可と建築物の確認申請の審査を担当しています。

法規がわかっていないとできない業務なので、最初は大変でしたが、実務を通じて徐々に身につけてきていると感じます。上司や先輩が気軽に相談に応じてくれるので大変ありがたいです。

■今、特に取り組んでいることはありますか？

より高いレベルの仕事ができるように、現在は一級建築士を目指して勉強中です。

昨年から、県の支援制度を利用して専門学校に通い始めました。平日の夜や土日に通っています。職場の皆さんも支援してくれますし、試験についてのアドバイスもいただけるので感謝しています。

日々、仕事でさまざまな事案や相談を受けていますが、普段のそういう経験がとても良い勉強になっています。



島田 卓弥 主任技師

ぎふ建築担い手育成支援センター

(公共建築課内) (平成30年～)

- ・平成22年 入庁 飛騨建築事務所
- ・平成24年 公共建築住宅課
- ・平成28年 建築指導課

■現在の仕事は？

平成30年5月にオープンしたぎふ建築担い手育成支援センターで、建築業界の魅力発信、人材育成、担い手確保に係る事業を担当しています。

4人だけの小さな組織ですが、大きな目標を掲げて、建築業界や教育機関と連携して取り組んでいます。

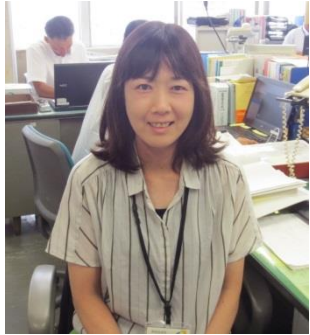
■初めてのことばかりだと思いますが、仕事はどうですか？

初年度の今年、ポータルサイトの開設、業界のPR映像の作成、企業フェスへの参加などを行います。

建築物は、設計、施工の各段階において、建築、電気、機械の技術者をはじめ、多様な人材がいないと完成しません。センターの活動により、多くの人に建築業界で働きたい、働き続けたいと感じてもらえたらうれしいです。

これまで担当した業務とは全く異なる仕事ですが、新しい出会いがあり、今まで知らなかった世界が見られるので、今後の自分にとって大きなプラスになると思います。

先輩職員紹介



六郷 美佳 主任技師

建築指導課(平成29年10月～)

- ・平成29年10月 入庁
(民間企業等職務経験者選考)
前職:設計会社、施設管理会社

■転職した動機は？

最初の会社は建築部門が分社化されたため退職、次の会社では多くの実務経験を積むことができたのですが、時間管理が難しいと感じていました。

県職員は、比較的時間を管理しやすく自分の体調管理をしながら働くことができる仕事だと思って、志望しました。

■実際に働いてみて、現在の仕事はどうか？

主に、建築士法に基づく指導を担当しています。他に、バリアフリー法、福祉のまちづくり条例に基づく指導なども担当しており、日々、いろんな相談が寄せられます。

実際に働いてみて、自分が考えていた以上に、県職員に求められているスキルは高いと感じました。

担当業務についてもっと勉強し、経験を積んでいきたいと思っています。また、同僚の担当する他の法律などに接する機会も多く、良い勉強になっています。



丹羽 智子 主任技師

公共建築課(平成30年4月～)

- ・平成20年 入庁 西濃建築事務所
- ・平成23年 公共建築住宅課
- ・平成26年 東濃建築事務所
(平成28年10月～平成30年3月
産前産後休暇・育児休業取得)

■産休・育休を取得するとき、不安はありましたか？

年度途中の休暇のため、職場にご迷惑をおかけする不安はありましたが、10月に民間経験の方が採用され、一週間の引継期間が持てたので良かったです。

休暇前は、職場の皆さんが体調をお気遣いくださり、遠隔地の出張や公用車の運転等に配慮をいただきました。

休業中は、年2回、育児休業中職員のための研修を受講したので、他の休業中職員との交流ができました。

■復職してからの仕事はどうか？

今は県有施設や県立高校の営繕工事の設計、工事監理等の業務を担当しています。経験のある所属ですし、職場は自宅に近くなりました。

復帰早々は不安もありましたが、早朝勤務と育児短時間勤務を併用して仕事をしています。

職場の皆さんに色々ご配慮いただき、家族とも協力して、仕事と育児を行っています。